

対象年度	平成31年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	放課後児童健全育成事業							予算事業名	放課後児童健全育成事業費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			03	02	05	2001	経常経費					
総合計画体系	1ともに支えあい、安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)							事業の区分	主要事業			
	1-3安心して子育てできる児童福祉の充実(児童福祉)								重点事業			
	②保育環境の充実							担当課係等	子ども福祉課			
	1保護者のニーズに合わせた保育サービスの充実								子育て支援係			
事業期間	継続 (平成 5年度～平成32年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
留守家庭児童へ放課後や長期休暇中の安全で安心な居場所を提供する。							留守家庭児童を持つ保護者からの依頼により開始。					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】					
市内各小学校区へ放課後児童クラブを設置。保護者会が運営する放課後児童クラブへ管理運営を委託する。小学校の余裕教室又は専用施設にて年間250日以上開設する。(月曜日から土曜日まで開設)							小学校に就学している留守家庭児童					
							【事業をとりまく環境の変化】					
							利用児童数の増加により、平成26年度に結城小学校第三学童クラブを増設。平成27年度は結城西小児童クラブの専用施設を設置し、結城西小第三児童クラブを増設。また、社会福祉法人みなみ福祉会解散(もろ保育園廃園)に伴う学童クラブもろ廃止のため、平成29年度から江川南小学童クラブを新規開設。					
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】				
公設民営14クラブ				公設民営15クラブ				公設民営16クラブ				

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	19,007	30,135			
	県支出金	19,007	30,135			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	23,912	11,838			
歳入計(千円)		61,926	72,108			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	08 報償費	0	20			
	11 需用費	870	1,135			
	12 役員費	42	94			
	13 委託料	60,127	70,745			
	14 使用料及び賃借料	0	12			
	18 備品購入費	887	102			
歳出計(千円)(A)		61,926	72,108			
伸び率(%)			16.44			
備考	総合計画 57ページ 予算書 91ページ					

# 平成29年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	実施クラブ数	箇所	目標	13.00	13.00	14.00
			実績	13.00	0.00	0.00
	250日以上開設クラブ数	箇所	目標	13.00	13.00	14.00
			実績	12.00	0.00	0.00
成果 指標	登録児童数	人	目標	436.00	443.00	473.00
			実績	424.00	0.00	0.00
	待機児童数	人	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	留守家庭児童の安全で安心な居場所を確保するために、放課後児童クラブの必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	行政が行うことにより保護者も安心して働きながら子育てができていると考えるが、事業実施の方法を検討する必要がある。
	手段の妥当性	A 妥当である	小学校内で実施することにより、下校後、学校敷地外へ出ることなく安全に放課後児童クラブへ移動することができる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	今後、発達につまずきのある児童が増えた場合、委託料は増加するものとする。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者には、概ね広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	放課後児童の安全で安心な居場所として放課後児童クラブが浸透しており、共働き世帯やひとり親家庭等、昼間就労等のため家庭にいられない保護者が安心して働くことができる環境づくりができている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	今後、放課後児童クラブを利用する保護者は増えていくことが予想されるため、児童クラブの増設も予想される。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

現在、保護者が運営する放課後児童クラブへ管理運営を委託しているが、保護者への負担が大きいため事業実施の方法（指定管理者委託、業務委託、市直営等）を検討する必要がある。  
また、障害を有する児童やグレーゾーンの児童の利用も増加傾向にあるため、支援員の加配等、各クラブに応じた対応が必要である。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

慢性的な支援員不足を解消し、発達につまずきのある児童へ適切な加配ができるよう支援員を確保する。  
事業実施の方法（指定管理者委託、業務委託、市直営等）を検討していく。

## ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充）  改善改革しながら継続  現状のまま継続（改善・改革なし）  統合・新規事業への展開  
 縮小  休止  廃止・終了  予定どおりの要求  一部改善の上要求  今回は見送り  その他の処置

改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）

放課後の子どもの居場所づくりは重要な事業である。国は、子育て世代の女性の就業率80%を目標にしていることから学童クラブの需要が高まる。支援員の質や量の課題解決に向け、さらに民間委託など運営方法についても検討していく必要がある。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充）  改善改革しながら継続  現状のまま継続（改善・改革なし）  統合・新規事業への展開  
 縮小  休止  廃止・終了  予定どおりの要求  一部改善の上要求  今回は見送り  その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。